

5. 入院患者の肺塞栓症の発生率

算式

$$\frac{\text{【分子】 入院中に発症した肺塞栓症の患者数}}{\text{【分母】 新入院患者数}}$$

定義

入院患者数のうち手術等を実施後、肺塞栓症を発症し、治療を行った患者数の割合

指標の解説

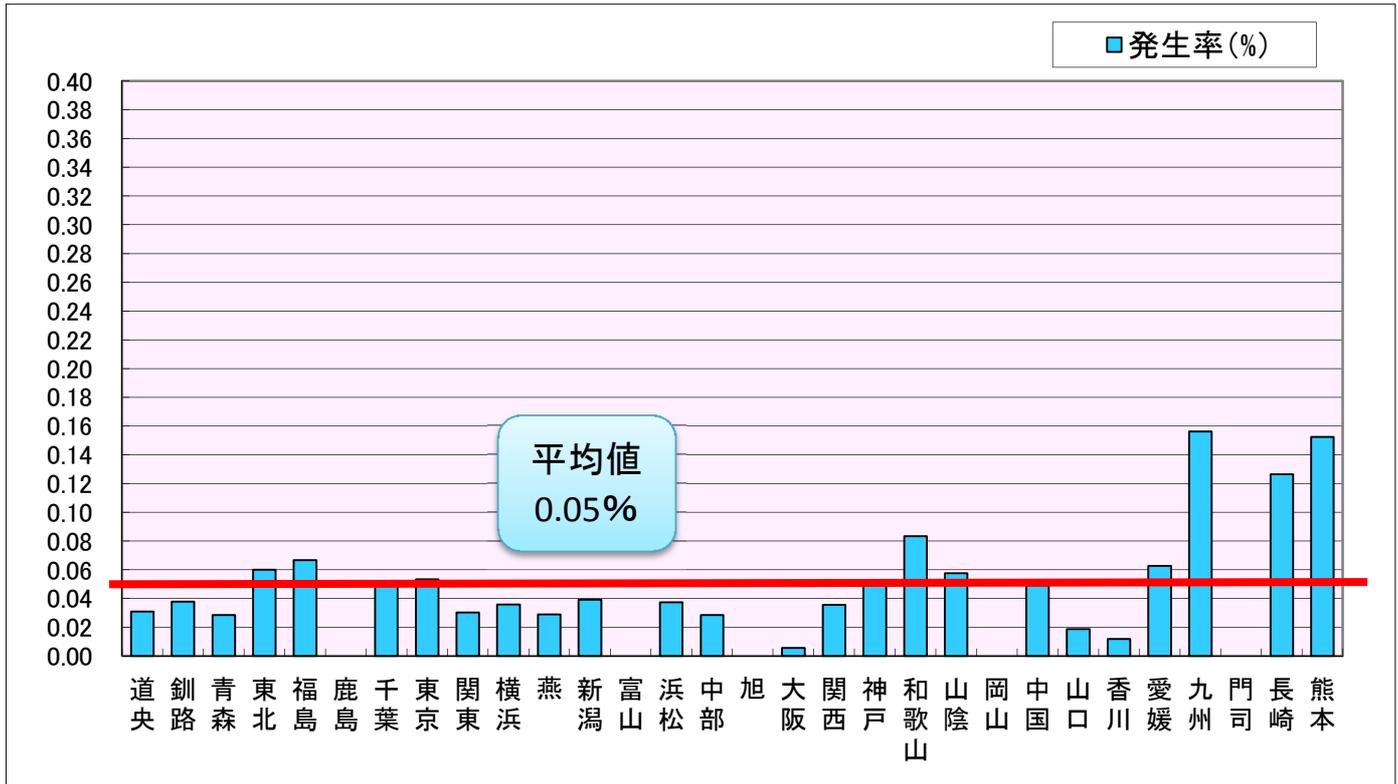
DPCデータより抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、肺塞栓症に対する病院全体の予防への取組について肺塞栓患者の発生状況から評価する。

肺塞栓症は、入院中の長期臥床や手術等により発症することが多く、発症すると致命的な病状になる。予防法が確立され適切な処置により発症を防止することが可能である。

発症率が低い場合には、入院中の肺塞栓症予防に積極的に取り組み、また、その効果が上がっていると評価できる。

5. 入院患者の肺塞栓症の発生率



施設名	分母	分子	発生率 (%)	
道央	3,234	1	0.03	
釧路	7,923	3	0.04	
青森	3,511	1	0.03	
東北	10,006	6	0.06	
福島	5,989	4	0.07	
鹿島	1,880	0	0.00	
千葉	9,952	5	0.05	
東京	7,503	4	0.05	
関東	13,181	4	0.03	
横浜	16,770	6	0.04	
燕	3,443	1	0.03	
新潟	5,104	2	0.04	
富山	3,850	0	0.00	
浜松	5,334	2	0.04	
中部	10,544	3	0.03	
旭	5,191	0	0.00	
大阪	17,763	1	0.01	
関西	14,074	5	0.04	
神戸	5,851	3	0.05	
和歌山	7,191	6	0.08	
山陰	6,937	4	0.06	
岡山	6,246	0	0.00	
中国	8,130	4	0.05	
山口	5,363	1	0.02	
香川	5,363	1	0.01	
愛媛	8,454	1	0.01	
九州	3,191	2	0.06	
九州	8,964	14	0.16	
門司	3,225	0	0.00	
長崎	5,536	7	0.13	
熊本	7,870	12	0.15	
合計	222,210	102	0.05	
平均	500床以上	13,723	4	0.03
	400床以上	8,390	7	0.08
	300床以上	5,432	2	0.04
	300床未満	3,372	1	0.01